

# 今年度市道除雪計画発表…建設企業委で 要援護世帯への配慮などで注文出る

22日、市議会建設企業常任委員会が開かれ、2006年度の除雪計画について審議が行われました。

市側の説明によると、今年度の市道除雪の延長は1666キロメートルで、前年度よりも約14キロメートルのびました。車道除雪は、原則として積雪が10センチ以上になった時に行いますが、上り坂など地形条件も考慮し柔軟に対応したいとしています。

今年度の重点施策としては幹線市道での交通の終日確保（試行延長21.6キロ）、除雪車両の増強、市民への情報提供の強化などをあげました。市のホームページを使った降雪予報は、今冬から全市域で行われることになりました。

質疑では、市民クラブの本城委員が、「降雪予報や除雪情報などがホームページで昨年からの市民に提供されているが、多くの市民が見ているケーブルテレビでも公開したかどうか」と提案。これに対して市側は検討を約束しました。また、番外で党議員団の樋口議員が、「高齢者などの要援護世帯の玄関先の除雪での配慮が

徹底されていない。以前から要請しているが、検討するところとすつときている。抜本的な対策を考えるべきだ」と主張しました。笠原都市整備部長は、「抜本的な手立て、なかなか見つからない。まずは除雪業者に徹底していきたい。今後、別の手立ても検討していく」と答えました。

## 一般質問は5日間に

22日の代表者会議で、一般質問の日程は5日間とすることが事実上決まりました。実施は12月定例議会から。

昨年の市議増員選挙後、市議会定例会で一般質問する議員は多い時で35人ほどになりました。これを、これまで4日間で行っていましたが、この日程だと一日に9人前後、質問にたたなければ終わりません。議員からは、「もつと余裕のある日程にすべき」などの声があがっていました。

12月定例議会は、来月6日開会の予定です。傍聴においでください。

	人口(人)			性比	世帯数			一般世帯に おける1世 帯当たり人 数
	総数	男	女		総数	一般 世帯数	施設等 世帯数	
市計	202,082	100,884	107,198	94.1	69,160	67,816	246	2.98
合併前上越市	134,313	65,221	69,092	94.4	47,238	46,139	200	2.81
13区計	73,769	35,663	38,106	93.6	21,774	21,677	46	3.34
安塚区	3,340	1,636	1,704	96.0	1,167	1,164	3	2.85
浦川原区	4,032	1,952	2,080	93.8	1,187	1,184	3	3.33
大島区	2,249	1,076	1,173	91.7	723	721	2	2.99
牧区	2,614	1,250	1,364	91.6	875	873	2	2.93
柿崎区	11,484	5,506	5,978	92.1	3,476	3,465	4	3.26
大潟区	10,401	5,023	5,378	93.4	3,104	3,063	15	3.25
頸城区	9,746	4,801	4,945	97.1	2,792	2,776	3	3.47
吉川区	5,142	2,467	2,675	92.2	1,482	1,481	1	3.45
中郷区	4,733	2,279	2,454	92.9	1,414	1,412		3.35
板倉区	7,817	3,593	3,924	91.6	2,120	2,114	5	3.50
清里区	3,152	1,550	1,602	96.8	845	842	3	3.68
三和区	6,190	2,999	3,191	94.0	1,660	1,658	2	3.70
名立区	3,169	1,638	1,638	93.5	929	924	3	3.30

(注)①性比とは、女性＝100とした場合の男性の割合をいいます。

②世帯数の総数には世帯の種類「不詳」を含みます。

## 国勢調査結果(確定値)にみる地区別人口と世帯数

(平成17年)

人口減少率が最も大きいのは牧区の△12.6%。次いで安塚区△10.5%、中郷区△10.0%、大島区△9.3%、吉川区△6.8%の順となっています。一方、人口が増加または減少率が低いのは、頸城区の2.2%増がトップ、次いで合併前の上越市で△0.3%、板倉区△0.2%、三和区△1.5%、清里区△2.0%の順となっています。

## 日本共産党上越市議員ニュース

No.71 2006年11月26日  
 連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
 樋口良子 544-6802 (中門前3)  
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)



## 橋爪議員が党中央委員会でのホームページ座談会に出席

来年の一斉地方選挙にむけて議員活動におけるインターネット活用をどう進めるか。日本共産党中央委員会はこのほど、4人の議員・議員団事務局長を集めて経験を交流し、今後の取り組みについて意見交換をしました。これには当市議団から橋爪議員も参加。会では、「速報性を強める」「党の政策、論戦だけでなく、議員の人となりを紹介する」工夫などが話題になりました。